株式会社KAKEGOE

所在地：京都市中京区今新在家西町3番地 2階
TEL：075-496-5134
HP：https://kakegoe.com/
SNS：https://www.instagram.com/aiyo_kyotoekinishi/
取材日：2024／12／19

京串揚げとお酒 あいよっ!!

ホームページ

AIYO_KYOTOEKINISHI

Instagram

社長インタビュー

株式会社KAKEGOE　代表取締役　水口大地（みずくちだいち）

Profile

出身地	：京都府京都市	学生時代の部活動	：テニス
出身校	：東山高校	好きなスポーツ	：ゴルフ
生年月日	：1992.12.9	好きな本	：なし
趣味	：ゴルフ	好きな言葉	：がんばろう！
血液型	：A型	得意な料理	：串カツ

Q：水口社長、今日はよろしくお願いします。まず最初に株式会社KAKEGOEの事業内容から聞かせて頂けますでしょうか？



2017年10月に創業し、現在は串揚げメインの居酒屋10店舗とFC1店舗、自店舗に商品を供給するセントラルキッチンを運営している会社です。また、障害をもたれる方のための就労継続支援事業も展開しており、そこで働く方にはお店の仕込みや清掃をお願いしております。

Q：ありがとうございます。御社では大手の飲食店さんでされているような取り組みもされているんですね。水口さんは、どんな経緯でKAKEGOEを創業されたのでしょうか？

僕は18歳のころから飲食店でアルバイトをし始め、どうせやるなら！ということで社員になり独立の意思があることを社長に伝えたら、当時、月30万ほど稼いでいた給料の半分以上を別の僕名義の口座に貯めていってくださったんです。そんな社長の人柄にどんどん惹かれていったのですが、4年後の管理職を任されたころに、残念ですが、急逝されてしまいました。その後、相続の話に進むわけですが、その手続きの中で僕名義で独立のために社長が貯めくださっていた口座が手元に戻ってきたんです。で、通帳を開いたら300万も貯まっていました。その300万を元手にして資金繰りを行い2017年10月に創業させていただいたんです。

Q：従業員の夢の為に、なかなかそこまで出来ないですよね。創業され、ここ５年で売上を１億円から７億円まで伸ばされ700%成長させた水口さんですが、その要因は何だと思われていますか？

決して僕だけの力ではなく、店長をはじめとするスタッフさんたちが日々、お客さまと向き合うことによって、私たちKAKEGOEのファンを増やしてくれたからだと思っています。KAKEGOEで働くスタッフたちはプロのエンターテイナーです。平均年齢20代のプロのエンターテイナーが自分たちと近い世代のお客さまをもてなすことでファンが増えリピーターさまとなり、その方々がまた新しい新規の方を連れてきてくださって達成できた数字だと思っています。



Q：20代でプロのエンターテイナーに、とのことですが、何か特別なことはされているのでしょうか？

現場から離れたOFF-JTでは年２回行われる座学研修の中で、お客さまに喜んでいただくための研修を取り入れています。また、現場で行うOJTでは店長が中心となり、日々アルバイトスタッフと向き合い、「自分のファンを作るためにはどうすべきか？」を落とし込んでいっております。

社長インタビュー



Q：ありがとうございます。となりますと、現場のスタッフさんたちが会社の売上を伸ばす重要な役割を担われているわけですね。そんなスタッフさんにはどんな想いをお持ちでしょうか？

先ほどもお話しましたが、弊社ではスタッフさんの平均年齢が20代と他企業さまと比較すると若い方かと思います。しかも大半がアルバイトスタッフで、KAKEGOEで社員になってくれたらそれはもちろん嬉しいですが、別々の道を進むことも当然あるわけです。いや、むしろ、その確率の方が高いわけですよね。であれば、そこから逆算しKAKEGOEでは何をして、何を学ぶべきなのか？を僕や店長と一緒になって見つけ、その先にあるゴールをぜひ、掴みとってほしいと思っております。

Q：目先の仕事だけではなく、その先にある目標を見据えて仕事をされているからこそ、たくさんのファンになられるのかも知れませんね！さて、ここから読者の方が気になりそうなことを伺っていきますよ！御社に入社すると、まず何から取り組まれるのでしょうか？

まずは僕が講師となる２時間ほどの座学の中で、会社の文化などについて学んでいただきます。その後、僕も含めた参加者全員のそれまでの人生がどんなものだったのか？を共有しあい、今後の自分は何を大切にしていくのか？を宣言する「No.1宣言」をしてもらいます。その宣言した言葉を自分の名刺に書き入れお客さまと接していきます。ちなみに僕のNo.1宣言は「前向きな挑戦者」です。

Q：その名刺をみたお客さまは思わず応援したくなってしまいそうですよね。その後にいかがでしょうか？

半年で店長を目指していただき、その後は管理職であるマネージャー職で経験を積み、出店計画や新規事業を担当するゼネラルマネージャーや役員を担当していただくようになります。弊社では中期計画として、５年後に直営店を42店舗まで増やす計画をしております。ざっと今の４倍で人材の確保が急務です。そのために現場の店長に「徹底的に自分の部下を増やせ！」と指示をしているところですね。

Q：具体的にはどう増やされていくのでしょうか？

求人広告などでは限界がありますし、仮に採用できたとしても、はじめまして！の状態ではなかなかスムーズにコミュニケーションが進まないこともあります。ですのでアルバイトスタッフさんから社員へ、



ファンになっていただいたお客さまからスタッフへ、といった具合に日ごろのコミュニケーションから店長自身のファンを増やし、そこから雇用を進めていくようにと指示しています。その方がコミュニケーションもできている状態からのスタートなのでやりやすいですし、何より店長自身の地位や やりがいもおのずと上がっていきますからね。

Q：なるほど。御社では集客も人材雇用もファンを増やすことで解決されているんですね。ここで御社の人材における強みをお聞かせください。

弊社ではドミナント出店といって、特定の地域に集中して出店をしていっております。ですのでスタッフさん同士やお客さま同士の距離がとても近くなり、ファンが増えやすく一つのコミュニティみたいなものが形成されているところだと思います。また、スタッフさんのご自宅にお歳暮を送らせていただき、親御さんがスタッフさんを応援してくれるような環境づくりもしております。これは別にいやらしい意味ではなく、「関わるすべての人を大切にする」という会社の理念を実践している形ですね。後は、社会人生活に重くのしかかってくる奨学金の返済も一定期間ではありますが、月額15,000円まで返済にあてられるような補助も行ってますね。

Q：関わるすべての方を大切するされる姿勢がファンを増やしているわけですね！最後になりますが、飲食業の素晴らしさも含めて読者の皆さまへメッセージをお願いします。

まず飲食業の素晴らしさからですが、スタッフ同士やお客さまとのコミュニケーションの中で人間力が向上するところだと思います。ここはAIやロボットにとって代わられない居酒屋ならではの強みであり素晴らしさだと思います。そして今後は、AIやロボットにとって代わられた職種に人材が流れなくなり、居酒屋で働く人が増えていくと思っています。皆さまは大切な人の「美味しい！ありがとう！」という素敵なコミュニケーションがパワーの源となり、今があると思います。ぜひ、一緒に頑張りましょう！

スタッフインタビュー

株式会社KAKEGOE　マネージャー　佐野翔平（さのしょうへい）



Q：続いてマネージャーの佐野さん、よろしくお願いします。まず最初に佐野さんのお仕事内容からお聞かせください。

　マネージャーと聞くと現場を離れて管理業務をしているイメージがあるかも分かりませんが、そんなことはなく普段は現場に混じって仕事をしております。現場の仕事以外には、合間で社員さんとの面談や外部の方との商談や折衝をこなし、現在４店舗の管理運営を任されております。

Q：ありがとうございます。大学２回生のころにアルバイトスタッフとして関わられたとのことですが、どのような経緯だったのでしょうか？

　大学入ってからとある飲食店でアルバイトを始めたのですが、そこで店長と揉めてしまって。当時はアルバイトなんてそう落とされるものじゃない、なんて考えていて次の働き先を決める前に辞めてしまったんですね。で、次の働き先を探すんですが、そこで見かけたのが代表の水口が立ち上げた１店舗目の求人広告だったんです。ピアスOK、髪染めOKなんていう言葉に惹かれ応募するわけですが、なんと水口に面接で落とされてしまったんですね。当時は一人暮らしをしていて、先の旅行も決まっていて本当に焦りました（笑）。なので再度、水口に直談判してなんとか採用してもらったんですよ。あ、ちなみに今でもピアスOK、髪染めOKは継続中ですよ！

Q：それは焦りますね（笑）。その後、社員になられると思うのですが、どのようなところに魅力を感じられたのでしょうか？

　水口の人柄です。創業して間もないころで仕事していればグチの一つでも出てきそうですが一切出てこないんですね。むしろ、「どんどん出店していくんだ！」といったビジョンを熱く語る前向きな姿に惹かれ尊敬するようになっていきました。そして入社するころには３店舗にまで拡大していて、そのビジョンの先頭に立てることにやりがいを感じ入社を決めたんです。



Q：ありがとうございます。KAKEGOEの先頭を走る佐野さんですが会社にはどのような想いをお持ちでしょうか？

　会社の成長とともに自分自身も幸せになりたいと思っています。おこがましい話なのかも分かりませんが、この会社を自分も一緒になって作ってきたという自負があります。ですのでこの会社の未来は決して他人ごとではないんですね。なので一緒に幸せになる。そう誓ってこれからも先頭で旗を振っていこうと考えております。

Q：佐野さんの人生は今、KAKEGOEと一心同体なわけですね。

　そうですね。このお仕事は決して楽な仕事ではありません。むしろ世間ではマイナスイメージが先行しているのも事実です。でも僕はこの仕事に誇りを持っています。そんな誇れる仕事ができる会社であることをこれまで支えてくれた両親や友人、そしてこれからKAKEGOEに関わる方へ伝えていけたらと思っております。

Q：「誇れる仕事」とのことですが、具体的にどういったところがそう感じさせるのでしょうか？

　まずこの仕事は、自分が行動した結果がすぐに出ます。お客さまの笑顔のために試行錯誤し料理をお出しすれば、その場で「美味しかった、ありがとう！」と。寒い日であれば相応のお声掛けやご対応させていただくことで、これもまた「ありがとう！」とおっしゃっていただけます。そういった具合に身近にたくさんの「ありがとう」があることがこの仕事の素晴らしさであり、誇れるところだと思っております。

Q：ありがとうございます。最後になりますが読者の皆さまへメッセージをお願いします。

　仕事は探せばいくらでもある時代です。なのでどうせなら自分が楽しめる道に進んでほしいと思います。